

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA1	科名	ファッションテキスタイル科1年	単位	4単位
科目コード	201100	科目名	ウィービング基礎演習	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 長谷川朋子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

前期は三原組織を中心にサンプル制作を通じ、織物の構造を理解し、制作に必要な知識・技術を習得する。前期後半から後期にかけてはマフラー・厚地織物サンプル・身につける布をテーマとした自由制作により、素材・組織選びなど用途に合わせた織物の企画をすることで、風合い・機能・効果を習得する。

【授業計画】

課題1 : 三原組織サンプル制作 2人1組で卓上織り機を使用、製織。 制作したサンプルを使用し組織図についての講義・演習。	演習	10コマ
課題2 : 組織サンプル制作 各自木枠にて製織 色々な織り組織のサンプルを制作し風合いの違いを考察。 織物の設計・組織図	演習 講義	8コマ 2コマ
課題3 : マフラー制作 2人1組で卓上織り機を使用、製織 糸染めから企画・設計・製織までを実習	演習	12コマ
課題4 : 自由制作 各自卓上織り機にて製織 服地・装飾品に使う織り布の企画・設計・製織までを実習	演習	12コマ
課題5 : 厚地織物 各自木枠にて製織 綴織・パイル織のサンプル制作	演習	8コマ

【評価方法】

S~C・F評価 評価基準 : 学業評価90% 授業姿勢10% 学業評価=実技課題作品提出及びレポート提出

主要教材図書

ハンドウィービング(手織りの実習) 文化出版局

参考図書 なし

その他資料 作品サンプル(講師作成)

授業の特徴と担当教員紹介

特徴 : 実習を通して織物の構造を理解する

担当教員 : 女子美術大学工芸専攻卒業 染織作家としての活動と並行し図案アトリエに勤務後独立 2018年(同)MoDeLab 設立
2005年より非常勤講師

記載者氏名 長谷川朋子

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14272	科名	ファッションテキスタイル科	2年	単 位	4
科目コード	22020	科目名	テキスタイルクリエイション	Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)： 奥田博伸	共同担当者： 増田美砂希
----------------	--------------

概要(教育目標)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 デザインやアイデアを実現する。目的を実現するための技術を個々が学ぶ中で、その達成のために様々な実験を行い、知識や技術を学ぶと共に、クラス内で製作する作品の経験を共有しつつ、テキスタイル表現の多様性を学ぶと共に、製作におけるそれらの経験を重ねることにより、具体的なデザインの方法を学ぶ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

<p>〈前期授業〉オリジナル製作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企画を立てる (講義・実習内にて) 2. 企画プレゼンテーション 3. サンプル製作 4. 制作プレゼンテーション 5. 本製作 6. 完成プレゼンテーション 	<p>講義・実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 反応染料によるプリント 2. 顔料によるプリント色合わせ
<p>〈後期授業〉オリジナル製作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企画プレゼンテーション 2. 素材製作 本製作 3. 修了プレゼンテーション 	<p>講義・実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 反応染料の無地染め 2. 顔料抜染 3. 各種顔料プリント 4. 塩縮 5. リップル
<ol style="list-style-type: none"> 1. 産地とものづくり 2. 各種工場見学 	<ol style="list-style-type: none"> 6. 反応染料防染プリント

評価方法・対象・比重
 各実習ごとのレポート及びポートフォリオなどの提出物・出欠席・プレゼンテーションの内容・素材や服等のオリジナル製作物

主要教材図書
 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③「アパレル染色論」

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴
 自由な発想でのテキスタイルクリエイションを校内の設備を活用して行う。
 担当教員紹介
 奥田染工場代表取締役。多種の染色技術を保有すると共に、テキスタイルを中心とした生産及び企画、全国の産地と連携したものづくり、メディア制作等を行っている。

記載者氏名 奥田 博伸

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA3	科名	ファッションテキスタイル科	3年	単位	1単位
科目コード		科目名	テキスタイルマーチャンダイジング		授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 柳原うたえ	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

分業によって成り立つテキスタイル業界の構造と、繊維産地における企画・製造について解説していきます。社会分析と自己分析を深め、社会に向けユニークな企画提案・販売設計ができることを目標とします。

【授業計画】

講義授業 / スライド(Microsoft Office PowerPoint)使用

- | | | | |
|-----------------|-------|-------|-----------------------|
| 1. テキスタイル×自分 | (4コマ) | 講義・実習 | テキスタイルとの関係性を可視化・発表 |
| 2. テキスタイル経済 | (2コマ) | 講義 | テキスタイル製造からアパレル製造までの流れ |
| 3. 産地のものづくり | (6コマ) | 講義・実習 | 日本各地の産地解説・演習 |
| 4. 企画提案のかたち | (3コマ) | 講義 | 海外と日本の企画提案・比較解説 |
| 5. テキスタイル企画実習 | (4コマ) | 講義・実習 | 企画提案・発表 |
| 6. 素材×サステナビリティ | (1コマ) | 講義 | 生産者としてサステナビリティを考える |
| 7. テキスタイル製品企画実習 | (4コマ) | 講義・実習 | 企画提案・発表(グループワーク) |
| 8. ものづくりと社会生活 | (2コマ) | 講義 | 環境問題・雇用問題などを考える |

【評価方法】

S~C・F評価

評価基準 : 学業評価...80% 授業姿勢...20%

主要教材図書 特になし

参考図書 特になし

その他資料 各繊維産地組合 HP

授業の特徴と担当教員紹介

地方でのキスタイル企画製造の知見から、実際のものづくりや国内外への提案の仕方を解説していきます。文化服装学院テキスタイル科卒業後、地方繊維産地にて織物製造に従事。2022年から文化服装学院講師。

記載者氏名 柳原 うたえ